

令和4年9月7日

各 位

公益財団法人愛媛県文化振興財団
代表理事 理事長 土居 英雄

伊予銀行Presents 読売日本交響楽団 愛媛公演 2022のご案内について

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から、(公財)愛媛県文化振興財団の事業につきましては、格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当財団ではより多くの人にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらうとともに、クラシック音楽ファンの裾野を広げるため、下記のとおり読売日本交響楽団のコンサートを開催いたします。

つきましては、本公演に貴団体のご希望の職員様に下記のとおり販売いたします。是非、この機会にご鑑賞いただくとともに、今後とも財団事業への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

御多忙とは存じますが、別添申込書にご記入のうえ、FAX (089-927-4778)、郵送またはメール (jigyo@ecf.or.jp) にて、9月20日（火）までにご回答いただきますようお願いいたします。

記

日 時 令和4年10月1日（土） 14:00～16:00
会 場 県民文化会館メインホール（松山市道後町2丁目5-1）
指 挥 小林 資典（こばやし もとのり）
ピアノ 小山 実稚恵（こやま みちえ）
管弦楽 読売日本交響楽団
曲 目 グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番
ムソルグスキー（ラヴェル編）：組曲「展覧会の絵」

入場料 S席（1・2F） 5,850円（一般販売価格：6,500円）
A席（3・4F） 4,950円（ “ ” 5,500円）
B席（5F） 2,700円（ “ ” 3,000円）

※チケットはお申込み順とさせていただきます。

（ご希望の座種が確保できない場合はご連絡いたします。）

※座席については選択できることをご了承ください。

※請求書をチケット郵送時に同封いたします。

【お問合せ先】

(公財) 愛媛県文化振興財団

総務事業部 大野

TEL:089-927-4777 FAX:089-927-4778

E-mail:oono-mikako@ecf.or.jp

読響 60th Anniversary

YOMIKYO
60th Anniversary
Yrs. 1962-2022

ドイツの歌劇場で要職を務め活躍する実力者
音楽界で注目を浴びる名匠が登場!
指揮 小林資典

伊予銀行 Presents
読売日本交響楽団 愛媛公演 2022
日本トップレベルのオーケストラが登場!

ピアノ 小山実稚恵
チャイコフスキイ、ショパンの二大コンクールに入賞!
第一線で活躍し続ける人気・実力ともに
日本を代表するピアニスト

華麗なる〈展覧会の絵〉& 哀愁のラフマニノフ

グリンカ:歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番

ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」
(ラヴェル編)

2022年 10月 14日(土) 時開演 (13時開場)
愛媛県県民文化会館メインホール
全席指定 S¥6,500/A¥5,500/B¥3,000

■未就学児の入場をお断りしております。■都合により曲目・出演者等が一部変更になる場合がございます。■公演中止の場合を除き、チケットの変更、キャンセル、払い戻しはできません。■新型コロナウイルスへの感染防止対策を行い実施します。■車椅子をご来場をご希望の方は(公財)愛媛県文化振興財団までお問い合わせください。

お問い合わせ: (公財)愛媛県文化振興財団 総務事業部 089-927-4777 (平日9時-17時)

主催: 公益財団法人愛媛県文化振興財団 特別協賛: 株式会社伊予銀行 共催: 読売日本交響楽団

後援: 愛媛県・愛媛県教育委員会、読売新聞松山支局

金管楽器が高らかに鳴り響き



チケット発売: 7月12日(火)

お申し込み:

(公財)愛媛県文化振興財団 089-927-4777 (平日9時-17時)

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時/年中無休)

<http://yomikyo.pia.jp>
(座席選択可/チケット郵送無料)

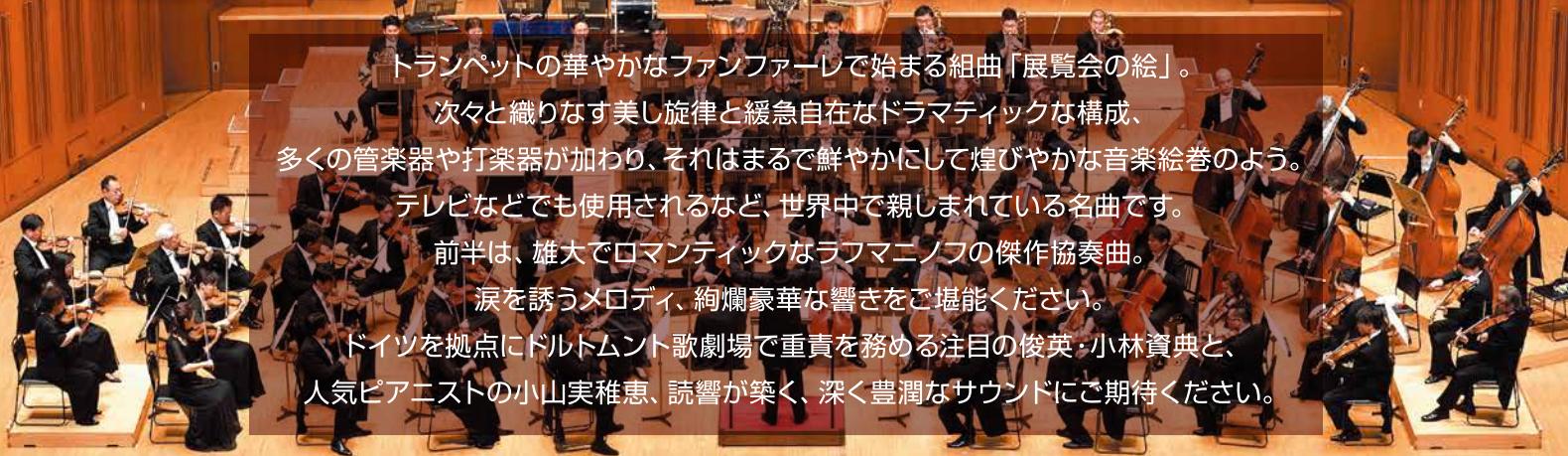


いよてつ高島屋 089-948-2727、フジグラン松山 089-922-8111 (代表)
チケットぴあ



伊予銀行

生きる希望として響く、ラフマニノフの壮大なハーモニー&「展覧会の絵」の迫力あるサウンドが興奮のクライマックスへと誘う！



トランペットの華やかなファンファーレで始まる組曲「展覧会の絵」。

次々と織りなす美し旋律と緩急自在なドラマティックな構成、

多くの管楽器や打楽器が加わり、それはまるで鮮やかにして煌びやかな音楽絵巻のよう。

テレビなどでも使用されるなど、世界中で親しまれている名曲です。

前半は、雄大でロマンティックなラフマニノフの傑作協奏曲。

涙を誘うメロディ、絢爛豪華な響きをご堪能ください。

ドイツを拠点にドルトムント歌劇場で重責を務める注目の俊英・小林資典と、

人気ピアニストの小山実稚恵、読響が築く、深く豊潤なサウンドにご期待ください。



小林資典(指揮)

Motonori Kobayashi, Conductor

©Gerardo Garciacano

本場ドイツの歌劇場で培われた、類まれな感性と実力を発揮する俊英。1974年生まれ。東京芸術大学及び同大学院で指揮法をF.トラヴィス、遠藤雅古に師事。文化庁海派研究員として渡独、ベルリン芸術大学でM.フスマンに師事。2000年からライン・ドイツ・オペラでコレペティトゥア及び音楽アシスタント、通奏低音奏者も務める。08年ドルトムント歌劇場の専属指揮者として契約し、13年から現在まで、同歌劇場の音楽総監督代理と第1指揮者(カベルマイスター)の任にあたる。現在、ドイツの主要劇場で要職にある数少ない日本人指揮者として活躍。モーツアルト作品、R.シュトラウス〈ばらの騎士〉、ヴェルディ〈椿姫〉など多彩な演目で成功を収めている。21年8月に読響にデビューし絶賛された。



小山実稚恵(ピアノ)

Michie Koyama, Piano

©Hiromichi Uchida

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー、ショパンの二大国際コンクール入賞以来、常に第一線で活躍。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外のオーケストラや指揮者からの信頼も厚い。『12年間・24回リサイタルシリーズ』や『ベートーヴェン、そして...』で演奏と企画性が高く評価された。22年からサントリーホール・シリーズ 第IシーズンConcerto〈以心伝心〉を、デビュー40周年にあたる26年まで4年間に亘り開催。東日本大震災以降、被災地で演奏を行い、仙台では自ら企画立案した『こどもの夢ひろば"ボレロ"』を開催。CDはソニーから32枚をリリース。著書に『点と魂と』。平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』。17年度 紫綬褒章受章。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のクラシック音楽の進行と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共に活動を重ねている。2019年4月にドイツの名匠セバスティアン・ヴァイグレが第10代常任指揮者に就任。現在、名誉顧問に高円宮久子殿下をお迎えし、サントリーホールなどで充実した演奏会を開催している。17年11月にはメシアン〈アッジの聖フランチェスコ〉(全曲日本初演)が好評を博し、「音楽の友」誌の「コンサート・ベストテン」で第1位となったほか、サントリー音楽賞を受賞。演奏会の様子はBS日テレ「読響プレミア」などで放送されている。

 伊予銀行

AGENT

銀行は、
「行く」から「する」へ。



愛媛県文化振興財団 総務事業部 行

FAX番号 089-927-4778

※送付状不要です。本票に必要事項を記載いただき、そのままFAXしてください。

令和4年 月 日

伊予銀行Presents 読売日本交響楽団 愛媛公演2022

申込書

団体名	
ご担当者氏名	
御 住 所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
備考	

※車椅子席ご希望の方は備考欄にご記入ください。

チケット購入希望

希望枚数	購入金額	備考
S席 (@5,850円)	枚 円	
A席 (@4,950円)	枚 円	
B席 (@2,700円)	枚 円	
合計	円	

恐れ入りますが 9月20日（火）まで に御返信をお願いいたします。